

(一般会計)

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、当期末残高は、下記 3 に記載するとおりである。

2 資金の範囲の変更

資金の範囲の見直しを行った結果、出版物と貯蔵品を含めないこととした。
当該変更に伴う前期繰越収支差額調整額の内訳は、下記 3 に記載するとおりである。

3 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高			当 期 末 残 高
	調整前	調整額	調整後	
現 金 預 金	21,576,401		21,576,401	31,351,806
未 収 金	9,352,750		9,352,750	7,970,240
前 払 金	129,155		129,155	75,240
出 版 物	29,813,883	△ 29,813,883	0	0
貯 蔵 品	271,090	△ 271,090	0	0
合 計	61,143,279	△ 30,084,973	31,058,306	39,397,286
未 払 金	1,751,782		1,751,782	3,448,825
前 受 金	836,100		836,100	1,932,120
預 り 金	1,044,530		1,044,530	1,730,148
合 計	3,632,412	0	3,632,412	7,111,093
次期繰越収支差額	57,510,867	△ 30,084,973	27,425,894	32,286,193

4 予算額と決算額との差異が著しい科目とその理由は、次のとおりである。

貸倒損失支出・・・取引先の破算により未収金が回収できなくなったことによる
管理費支出－会議費支出・・・通常総会の会場が変更となり、支出が増加したことによる
管理費支出－支払寄付金支出・・・東日本大震災の被災地支援のため義援金を支出したことによる

5 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。

(特別会計)

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、有価証券、前払金、未払金及び前受金を含めている。
なお、当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	1,612,024	15,665,188
有 価 証 券	16,068,494	27,469,039
前 払 金	0	0
合 計	17,680,518	43,134,227
次期繰越収支差額	17,680,518	43,134,227